福岡県でランピースキン病発生！

11月1日、福岡県みやま市の牛飼養農家でランピースキン病の疑似患畜が確認されました。また、韓国では感染が拡大しています（9～10月に212件）。侵入防止対策を徹底しましょう！

●発生農場の概要
・飼養状況：経産牛70頭、育成牛8頭、子牛15頭、計93頭
　経過：10月31日に診療獣医師から通報、県家保が立入。11月1日に疑似患畜と確定
●今後の対応
・疑似患畜1頭を殺処分
・当該農場へ感染牛の隔離、移動制限及び衛生害虫対策の指示
・当該農場及び半径5km以内の5戸の牛飼養農場（516頭）にワクチン接種予定
・ワクチン接種完了後の移動制限期間は21日間

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大

疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
（State Central Veterinary Laboratory in Mongolia）

ランピースキン病の侵入防止対策

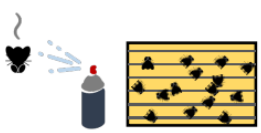
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

疑わしい場合は直ちに連絡してください！

京都府山城家畜保健衛生所　TEL：0774-52-2040（夜間・休日転送）
FAX ：0774-52-2030